

## 週日の説教

金 大烈 神父 2009年12月16日(水)

### 《尊敬される人生、それは愛の実践》

おはようございます

今日は、ある雑誌で、郵便局に就職した若い集配人が書いた文章を読んで、私自身思うところがあったので皆様に紹介したいのです。

その若者は、郵便局から勤務先としてある小さな局に配属されたそうです。そこで何日かたってある事に気が付きました。皆がある人だけに心込めて暖かな顔で丁寧におじぎをし、挨拶を交わす姿が目についたそうです。その人60歳は過ぎている人だったそうです。「何故人々がこの人を大事にして尊敬しているのか」、「何故彼を見ている人々の目はこんなに優しいのか」と、それが疑問だったそうです。その方の仕事ぶりをよく観察してみても、能率的にテキパキと動く様子でもないし、言葉も綺麗に話すタイプでもなく、どちらかと言えばゆっくりと、のんびり話す姿しか目に入りませんでした。

ですから、人々が何故その人に特別な好感を持っているのか本当に不思議だったそうです。

何日かたったある日、その地域の郵便局の運動会があったそうです。その若者はサッカー代表として走るようになっていたそうです。ところが走っている時、足をくじいて歩けなくなってしまったのです。仕方なく早めに家に帰る事になりました。足の手当てをしていたその夜に、人々が尊敬しているその人が家まで来て「あなたが怪我をした所を見たので、明日のあなたの仕事は私が変わりにするから、あなたは心配しないでゆっくり休んでほしい」と一言伝えて帰ったそうです。その人の姿をぼんやり見送りながら「ああ、分かった。疑問だった事が分かった」と、その若者の話です。

私は日本に来てもう6年目になります。渋川に3年、この教会(太田)に来て3年目になりますので体の不調も時々出てきます。私には、今までお世話になっている病院が二つほど、内科医と歯科があります。私は自分の体を常に気づかうタイプではなく、しょうがなく病院に行くタイプです。そこで私自身が体験したことですが、この二つの医院に行くたびに心を打たれます。もちろん私自身に対して親切にして頂いていますが、それだけではなく心打たれる訳があります。この二つの医院の二人の先生は患者さん達に対して、そこにやってくる人々に対して、使命感を持って、ある時には父親のように、ある時にはお兄さんのように、親身になって接している様子を見せてくれます。本当に相手のことを気づかって誰にも真摯な態度で、暖かな対応をなさっている姿に感動します。

熟年の先生ですので、これくらいの年齢まで働いたら経済的にも結構豊かな生活が出来ているはずだと思うのですが、そんな素振りは全く見せないのです。もちろん、彼ら二人は信仰深い方々で、社会的にも色々と奉仕活動もなさっている人たちです。

私はこの秋に、韓国である歯科にかかったのですが、治療が終わったらもうこの歯科には絶対行かないと思うほど苦い思いをしました。先日もこちらで歯科医にお世話になったのですが対応が全く違いました。ですから、その時それぞれの立場で、どの様な心を持って自分の仕事をするか、それによって人々に与える影響は随分と違って来ると強く感じました。

私達も心込めて何かをやらなければならないと思います。

皆様、全ての人間は認められたい気持ちを持っています。そして尊敬されたい気持ちもあります。「私は尊敬されたいとは思いません。」と言う方がいますか。表面的には何も言わなくても、全ての人間には尊敬されたい気持ちがあります。認められる、尊敬される唯一の方法があります。それは何でしょうか。

富の豊かさでもないし、高い地位でもありません。唯一の方法はやっぱり愛する事です。愛の実践です。愛の実践をする者は必ず尊敬され認められます。

ある教育委員会からの依頼で学校の先生達を対象に話をする機会がありました。その時に私は、子供達に夢を与えるのはすごく大事な先生達の役割だと言いました。そして、子供たちに持たせる夢は職業とは関係せずに「尊敬される人になること」であるのを教えて欲しいと願いました。尊敬されるために子供達は考えます。何回も考えて間違えても又考え直します。結局、「尊敬される者になりたいと思う気持ちになったら、本当に正しい生き方を見つけます。」この様に話したことを覚えています。

さあ、皆様、私達はそういう意味で愛の実践しかないことを改めて考えて見ましょう。

ありがとうございました。